

北リアス線復旧工事再開

三鉄県の5億7500万円支援受け

東日本大震災で甚大な被害を受け、全線の3分の2で運休している三陸鉄道は11月3日から、北リアス線の復旧工事を再開することを決めた。県が今年度補正予算で5億7500万円の支援を決めたため。同社は来年4月、同線陸中野田―田野畑間の運行を再開する予定だ。

工事区間は、陸中野田―野田玉川間。来年3月までに津波で流された線路を敷き直す。被害を免れた野田玉川―田野畑間と合わせて運行を再開する。

同社は震災直後にも、がれき撤去や復旧作業を行い、3月中旬に同線の宮古―小本間と久慈―陸中野田間計36キロの運行を再開させた。しかし、その後は総額約110億円の復旧費のめどがたらず、工事が停止していた。現行制度では、復旧費のうち、国が4分の1、

県と市町村が4分の1、同社が2分の1を負担する。県議会は今月、県負担分を盛り込んだ補正予算を可決。国も第3次補正予算で支援を決定する見通しだ。同社の富手淳・旅客サービス部長は「工事を進め、3年後には全線で運行を再開したい」と話している。

あゝ頃生き生き 人形で三陸再現



昭和30〜40年代の三陸の農漁村の風景をモチーフにした「昭和の風土記、三陸のわらさつ子展」が27日、盛岡市大通の岩手教育会館で始まった。

宮古市在住の服飾店経営、佐々木昇子さん(63)の写真は10年前から、生まれ育った宮古の浜の記憶や当時の写真などを基に人形制作を開始。

ソフトバンクに育成3位で指名

岩手大・三浦

プロ野球のドラフト会議



指名後の記者会見で喜びを語る三浦投手

が27日、東京都内のホテルで行われ、岩手大4年の三浦翔太投手(21)が福岡ソフトバンクから育成3位で指名を受けた。同大からの初

のプロ選手となる。三浦投手は記者会見で「支えてきてくれた人たちが何よりも両親にまずありがとう、と言いたい。ソフトバンクは本当に強いチーム。まず支配下登録に向けて、今日から頑張りたい」と喜びを語った。

午後8時10分、西崎滋・硬式野球部長に球団から「指名しました」と連絡が入ると、チームメイトらと握手をして喜びあつたという。

三浦投手は大槌町出身で177センチ、65キロ。右投手から投げ込む最速137キロの直球とスライダー、カーブ、シンカーの制球力が持ち

今回、展示しているのは、布きれや粘土、ちりめんを使った作品34点。家族で出漁する場面や、農作業の合間に授乳する母親の様子などが生き生きと表現されている。

宮古市栄町から訪れた村

松敏江さん(67)は「子供の頃の風景がそのまま精密に再現されていて懐かしい」と話していた。30日まで。午前10時〜午後5時。入場料300円。問い合わせは、佐々木さん(090・7065・7316)へ。

「エコキュートで健康被害」

全国チェーンのうづん店に設置された電気給湯器「エコキュート」の低周波音などで健康を害したとして、北上市の女性(51)と母親(83)が27日、製造メーカーと設置した建設会社、同店を相手取り、計約130万円の損害賠償などを求める訴えを盛岡地裁に起こした。

製造会社などを訴 北上の女性提

訴状によると、同店は昨年9月に開店し、エコキュートを使い始めたが、店から5メートル離れていない住宅に住む女性と母親は不眠や耳鳴り、頭痛に悩まされるようになったという。被告側は「訴状の内容を確認しておらず、コメントできない」としている。

局 2-3-2
53-1441
24-5410
rioka.com
局
3-10-12
65-1128
65-1072
23-1065
62-1166
23-4145
27-2270
24-4359

局) 24-1650
局) 53-3646
ご用は 局) 23-1
22-5224
38-4477
41-1932
64-1522
72-1722
23-9839
23-2016
53-2024
24-3333
22-2655
35-2850
32-4599
54-3943
23-8030
27-3141
27-2364
53-2755
23-2366
52-4319
32-3835

泌尿器科・内科